

数学基礎 B2 (第 5 回・2022/7/15) 小テスト

在籍番号		氏名	
------	--	----	--

学務情報システム内では行列  $\begin{pmatrix} a & b \\ c & d \end{pmatrix}$  は  $[[a,b],[c,d]]$ ,  $A^{-1}$  は  $A^{-1}$  と表記する。

[1] (定義)  $A = (a_{i,j})$  を  $n$  次正方行列とする。

$A$  の  $(i,j)$  成分  $a_{ij}$  を中心に第  $i$  行と第  $j$  列を取り除いてできる行列を  $A_{ij}$  とおく。

このとき,  $\tilde{a}_{ij} = (-1)^{i+j}|A_{ij}|$  を行列  $A$  の  $(i,j)$  余因子という。

$|A| = a_{13}\tilde{a}_{13} + \dots + a_{n3}\tilde{a}_{n3}$  を第  (1) に関する余因子展開という。

$\tilde{A} = (\tilde{a}_{ji}) = (\tilde{a}_{ij})^T$  を行列  $A$  の  (2) という。

(定理)  $n$  次正方行列  $A$  の 行列式  $|A|$  を用いれば,  $A$  が正則  $\iff$   (3) となる。

$A$  が正則のとき,  $\tilde{A}$  を用いて,  $A$  の逆行列  $A^{-1}$  は  $\frac{1}{|A|}\tilde{A}$  と書ける。

例えば,  $A = \begin{pmatrix} 1 & 0 & 1 \\ 2 & 0 & 1 \\ 1 & 1 & 2 \end{pmatrix}$  に対して,  $|A| = 1$  であるから,  $A^{-1} = \tilde{A} =$   (4)。

[2] (定義)  $\mathbb{R}^n := \left\{ \begin{pmatrix} x_1 \\ \vdots \\ x_n \end{pmatrix} \mid x_i \in \mathbb{R} (i = 1, \dots, n) \right\}$  を  $n$  次元  (1) という。

特に,  $\mathbf{x} = \begin{pmatrix} x_1 \\ \vdots \\ x_n \end{pmatrix}, \mathbf{y} = \begin{pmatrix} y_1 \\ \vdots \\ y_n \end{pmatrix} \in \mathbb{R}^n$  に対して, 内積  $\langle \mathbf{x}, \mathbf{y} \rangle :=$   (2)

が定義されているとき,  $\mathbb{R}^n$  を  $\mathbb{E}^n$  と書き,  $n$  次元  (3) という。

(内積の性質)  $\mathbf{x}, \mathbf{y}, \mathbf{z} \in \mathbb{E}^n, c \in \mathbb{R}$  に対して, 以下が成り立つ:

(i)  $\langle \mathbf{x}, \mathbf{x} \rangle \geq 0$ .  $\langle \mathbf{x}, \mathbf{x} \rangle = 0 \iff \mathbf{x} = \mathbf{0}$ ; (ii)  $\langle \mathbf{x} + \mathbf{y}, \mathbf{z} \rangle =$   (4);

(iii)  $\langle c\mathbf{x}, \mathbf{y} \rangle =$   (5); (iv)  $\langle \mathbf{x}, \mathbf{y} \rangle = \langle \mathbf{y}, \mathbf{x} \rangle$ .

(定義)  $\mathbf{x} \in \mathbb{E}^n$  に対して,  $\mathbf{x}$  の大きさ  $\|\mathbf{x}\|$  を  $\sqrt{\langle \mathbf{x}, \mathbf{x} \rangle}$  と定める。例えば,  $\mathbf{x} = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ 2 \\ 4 \end{pmatrix} \in \mathbb{E}^4$

に対して,  $\mathbf{x}$  の大きさは  $\|\mathbf{x}\| =$   (6) となる。